

## 目的

- 日本語を母語としない子供が安心して立ち寄ることができる地域の居場所として「多文化キッズサロン」を都内に設置し、日本語学習や教科学習、悩みや困りごとに寄り添う相談、地域の人や同じ境遇の仲間との交流を実現することで、多くの人とつながりながら、自分らしく暮らしていけるよう地域で一体的な支援を行うことを目的とする。

## 補助対象となる「多文化キッズサロン」

- 「学習」「相談」「交流」の3つの機能を保有するもの



### 各機能の例

#### 学習機能（必須）

- 対象  
おおむね18歳までの日本語を母語としない子供
- 例
  - ① 日本語支援教室の開催（週1以上）
  - ② 教科学習支援教室の開催（週1以上）
  - ③ 長期休暇時の補習教室の開催
  - ④ 就学促進支援（不就学、不登校、就学前）
  - ⑤ 進学支援（高校入試対策等）

#### 相談機能（必須）

- 対象  
おおむね18歳までの日本語を母語としない子供  
及びその保護者
- 例
  - ① 子供・保護者向けの教育、福祉等の相談員を配置
  - ② 学校との調整役を配置
  - ③ 専門家による相談会の開催
  - ④ 進路・進学相談会の開催

#### 交流機能（必須）

- 対象  
おおむね18歳までの日本語を母語としない子供
- 例
  - ① 地域との交流を目的としたイベントの開催（年1回以上）
  - ② 母語や母国文化に触れるイベントの開催（年1回以上）
  - ③ 遠足や見学・視察の実施（年1回以上）
  - ④ 先輩との交流会の実施（年1回以上）

#### その他機能（任意）

- 対象  
おおむね18歳までの日本語を母語としない子供
- 例
  - ① 遊び場やプレールームの設置
  - ② 子供食堂の開催
  - ③ 未就学児の母子サロンの開催
  - ④ 中高生向け自習室の設置
  - ⑤ 生活ルール講座の開催
  - ⑥ 就職支援事業の実施

# 多文化キッズサロン設置支援事業補助金

## 補助対象経費

### 整備費（新規立上げ、拡充）

補助率： 10 / 10

補助上限額： 1拠点3千万円

※申請は1拠点1回限り。  
ただし、複数年度計画で申請可(最大3年度間)

#### ○補助対象経費

- ・ **工事請負費**（施設の新築・改修（付帯設備を含む）、システム・ネットワークの構築も含む）
- ・ **備品購入費**（机、ロッカー等）
- ・ 負担金補助及交付金
- ・ その他都が必要と認める経費

### 運営費

補助率： 1 / 2 （都1/2、区市町村1/2）

補助上限額： 1拠点1千万円

#### ○補助対象経費

- ・ **賃金、報償費、旅費・交通費、職員手当等**
- ・ **需用費（消耗品費、印刷製本費、光熱水費 等）**
- ・ **役務費（保険料、通信運搬費、広告代 等）**
- ・ **委託料**
- ・ **使用料及賃借料**
- ・ 負担金補助及交付金
- ・ その他都が必要と認める経費

## R5年度のスケジュール（予定）

- |   |              |
|---|--------------|
| ■ 4月下旬  | 募集開始         |
| ■ 5月～6月   | 申請書作成相談      |
| ■ 6月9日（金）   | 申請書の提出〆切     |
| ■ 6月中旬～7月中旬頃  | ヒアリング、審査会を実施 |
| ■ 7月下旬頃   | 交付決定         |
|  |              |
| ■ R6年4月上旬頃  | 実績報告書の提出〆切   |
| ■ R6年5月末頃   | 交付額支払        |

## 予算額を超える申請があった場合、採択の優先順位

- ① 現状、域内に既存施設がない**新規案件**
- ② 現状、日本語を母語としない**児童生徒数が多く、既存施設の拡充や施設の追加が求められる案件**
- ③ 現状、**必須3事業のいずれかが不足**していて、今年度、必須事業を新規で追加する案件